

知財コンサルティングセンター（PCIP）セミナー報告

- (1) 日 時： 2025 年 05 月 10 日（土） 10:00～12:00
- (2) タイトル： 「医療系アカデミアの知財戦略」
- (3) 講 師： 飯田 香緒里 氏
国立大学法人東京科学大学 副学長（産学官連携担当）・教授
医療イノベーション機構長
- (4) 場 所： オンラインセミナー（Zoom）
- (5) 聴講者： 21 名

概 要：

近年大学等アカデミアには、イノベーション創出の担い手として大きな期待が寄せられている。特に近年の技術革新や、技術開発の高速化に伴い、アカデミアがイノベーション創出へ寄与するには、知的財産戦略を軸に異分野融合研究、新規事業創出を見据えた本格的な産学共創、スタートアップ設立等による新事業創出が必須になっている。本演題では、東京科学大学の医療イノベーション創出に向けた知的財産戦略について紹介する。

内 容：

(1) 知的財産の管理・活用

医療系アカデミアによるシーズを起点として、社会実装まで実現する事例は多い。知財の適切な管理（一製品一基本特許）を推進すること、および、企業のみならず、産学連携・スタートアップ等により、出願した特許を積極的に活用していくことがとても重要となる。

(2) 産学連携

産学連携の研究開発は活発化している傾向にある。近年では、大学の知財をフル活用する新規事業の創出活動（包括連携）も行われ、多様な業種の企業との連携が実現できている。

(3) アカデミア発スタートアップ

アカデミア発スタートアップ企業も増加傾向にあり、医薬品開発では不可欠な存在となってきている。

(4) 特許以外にも重要な知的財産

医療アカデミアの知的財産は、特許以外にも存在（ノウハウ、マテリアル等）する。そのため営業秘密として適切に管理していく体制の構築が重要となる。

(5) 東京科学大学の医療イノベーション戦略

多くの医療イノベーション施策（大学に存する知的アセットのフル活用、ビジョンオリエンテッドで挑む産学共創、創造と革新を続ける大学・附属病院等）を積極的に推進している。人材育成をベースに多くの組織と連携し、大学の価値向上に貢献している。

所 感：

東京科学大学医療イノベーション機構は、人材育成および知財戦略をベースに、研究および産業のシーズを萌芽させ、大学の価値向上に多大なる貢献をしていることが理解できた。そのための具体的な活動はとて多岐にわたっており、医療分野以外の産業にも参考になる点が多い。また、医療イノベーションを推進するためには、多くの分野の専門家が必要とされており、技術士の活躍の場にもなり得るものと思えた。

以上